

サステナブルを、もっとフレキシブルに。





BIODIESEL FUEL

バイオディーゼル燃料



■ バイオディーゼル燃料とは

バイオディーゼル燃料とは廃食用油を原料としているため、石油などの化石燃料とは違い、地球にやさしいエネルギーです。バイオ燃料の原料となる植物が、成長過程で空気中のCO₂を吸収しているため、結果的に大気中のCO₂は増加されず、環境負荷低減に貢献します。

■ バイオディーゼル燃料のメリット



CO₂排出量削減

改正省エネ法*1・温対法*2に基づいたCO₂排出量カウントの削減が可能です。

*1 エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)
事業者がエネルギー使用量の把握・報告と省エネ計画の策定を義務づけ、省エネの継続的な推進を目的とする法律。
*2 地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)
事業者が温室効果ガス排出量の算定・公開を求め、自治体と連携して脱炭素対策を推進することを目的とする法律。



設備投資不要

既存設備が利用可能なドロップイン燃料となるため、追加の設備投資が不要となります。



循環型社会形成

廃食用油を再生し環境保全を図ることで、循環型社会形成に貢献します。

■ 製品ラインナップ

FKB5
B5軽油

BDF5%と軽油を混和した燃料です。CO₂排出量を約5%削減のうえ、品確法*上軽油の強制規格を満たしており、軽油と同じ運用が可能です。



FKB30
B30燃料

BDF30%と軽油を混和、CO₂排出量の約30%を削減できます。オフロードのみの仕様となりますが、高い削減率が特徴となります。



FKB100
B100燃料

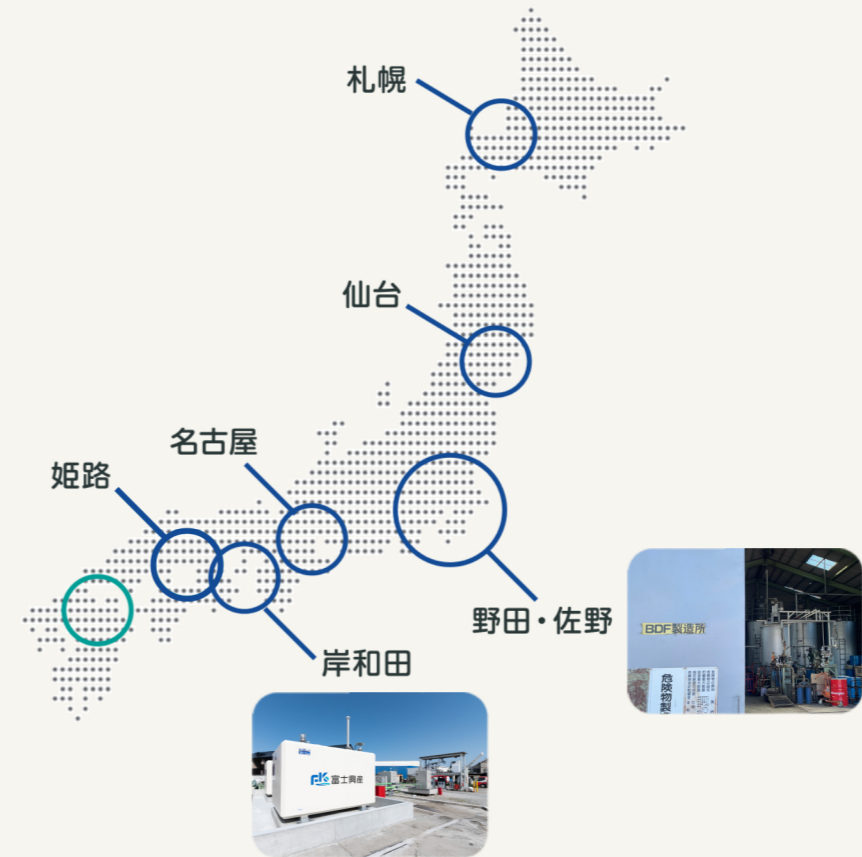
BDF100%使用であり、CO₂算出項目から除外される燃料です。オンロード・オフロード問わず軽油代替燃料として利用可能です。

FKBxH
バイオ重油

BDFと重油を混和した重油代替燃料です。主に産業用ボイラーや船舶燃料として使用されます。xは混和率を変えており、ニーズに合わせた混和が可能です。

* 揮発油等の品質の確保等に関する法律(品確法)
ガソリン・軽油などの品質基準と表示義務を定め、不適合燃料の流通を防止することを目的とする法律

■ 拠点紹介

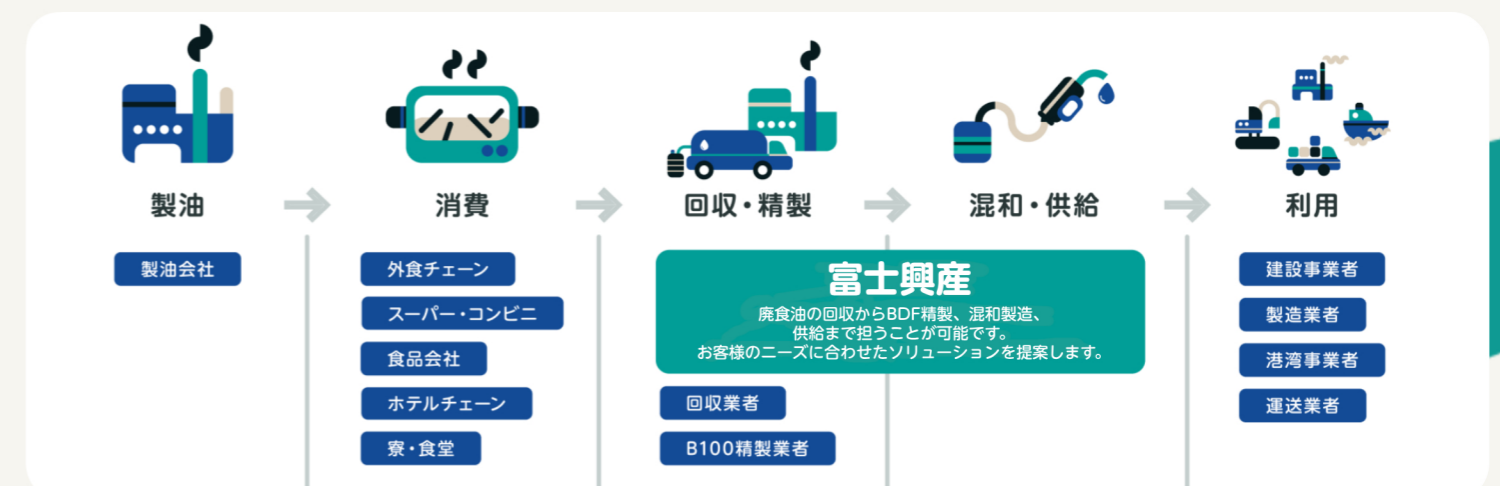


安定供給を支える 全国規模の サプライチェーン

○ 稼働中
○ 稼働予定

■ 富士興産としての機能と納入までの流れ

弊社は廃食用油の回収からBDF精製、混和製造、供給までの機能を有しております。必要となる機能をお客様に合わせてご提案致します。



製油

製油会社



消費

- 外食チェーン
- スーパー・コンビニ
- 食品会社
- ホテルチェーン
- 寮・食堂



回収・精製

- 回収業者
- B100精製業者



混和・供給

富士興産

廃食用油の回収からBDF精製、混和製造、供給まで担うことが可能です。お客様のニーズに合わせたソリューションを提案します。



利用

- 建設事業者
- 製造業者
- 港湾事業者
- 運送業者



RECYCLED OIL

再生重油

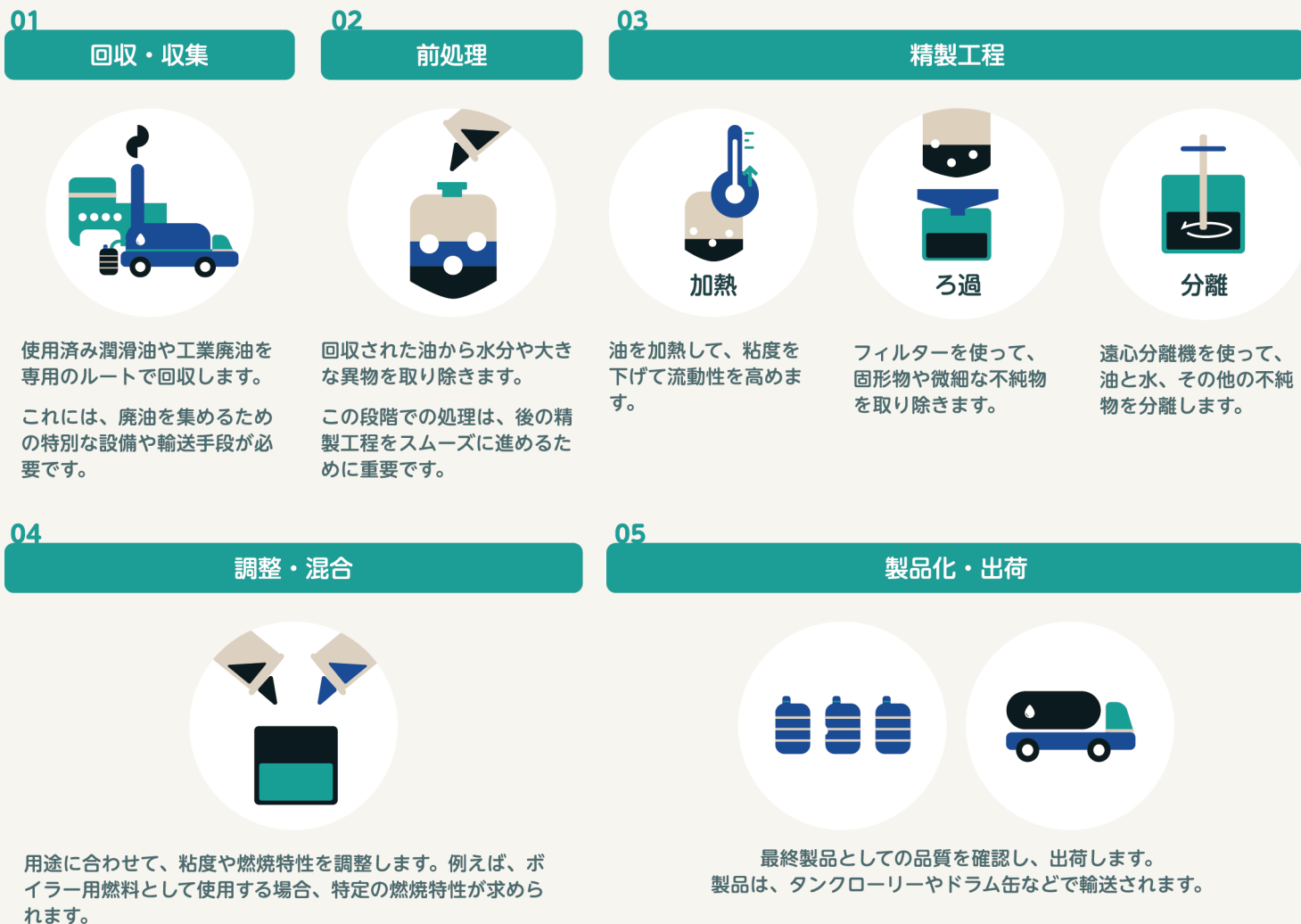


SUSTAINABLE SOLUTIONS
富士興産のサステナブルな燃料ソリューション

再生重油とは

再生重油(JIS K 2170)は使用済み潤滑油を主原料にした廃棄物を有効利用したリサイクル燃料です。SDGs 観点からも環境に優しく、経済的かつエシカルな燃料で、3E(Ecological Economica Ethical)重油と呼んでも良いものです。

再生重油の製造プロセス



具体的な利用方法

再生重油の利用場面は増加傾向にあります。特に、環境負荷を低減する取り組みが進む中で、その需要が高まっています。石灰製造にて使用される直火使用の工業炉や製紙工場等で現在使用されております。



ボイラー用燃料
工場や施設のボイラーで使用されます。



アスファルト製造
アスファルトの製造過程で燃料として使用されます。



工場の加熱炉
工場用途での加熱炉の燃料として使用されます。

再生重油利用のメリット



省エネ法、温対法における再生重油の位置づけ

(出展 全国オイルリサイクル協同組合HPより)

- 改正省エネ法(2023年4月施行)に基づく定期報告書では、化石エネルギーから非化石エネルギーへの転換を促進する主旨から、従来報告義務に無かった太陽光、風力、バイオ燃料などの非化石エネルギーも報告対象となります。再生重油はこの非化石エネルギーに分類されます。
- 温対法の「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」では廃棄物の有効利用の観点から廃棄物原料と位置づけられ、排出されるCO₂はエネルギー起源のCO₂排出量として調整後、温室効果ガス排出量報告では削除され報告対象外となります

CARBON-OFFSET FUEL

オフセット燃料

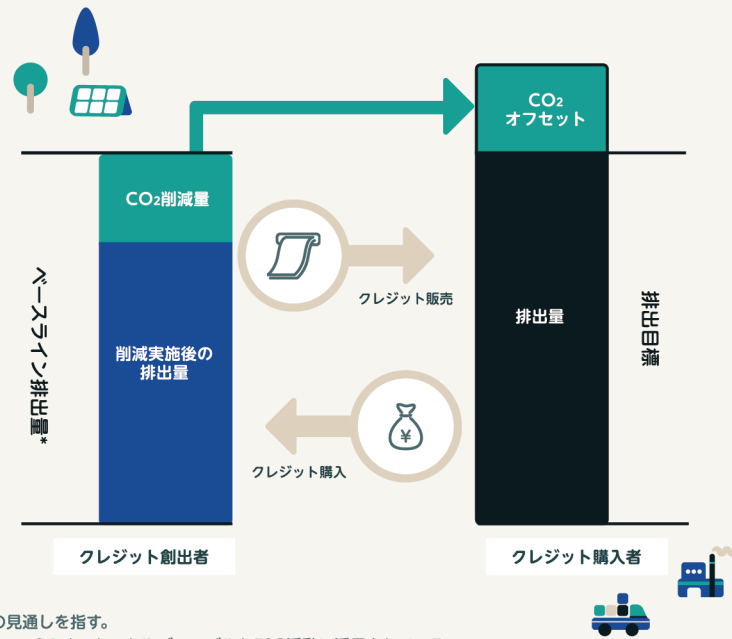


カーボンのクレジットとは

カーボンのクレジットとは、森林保全や再生可能エネルギー、燃料転換などによって削減または吸収されたCO₂排出量を「1トン=1クレジット」として数値化し、第三者認証のもとで取引可能としたものです。企業がカーボンのクレジットを購入・無効化(償却)することで、自社の温室効果ガス(GHG)排出を間接的にオフセットすることができます。

弊社のオフセット燃料は、国が認証する「J-クレジット制度」を調達・活用しており、主にScope1(燃料燃焼由来の直接排出)の調整後排出量をゼロ化したい場合にご利用いただけます。

また、Scope1だけでなく、Scope3(原油採掘～製造・輸送までの間接排出)を含むオフセットも、既存燃料油にボランタリークレジット(VCM等)**を組み合わせる形で実施するなど、多様なアプローチを検討しております。



*植林や太陽光発電設備の導入など、その排出削減プロジェクトが実施されなかった場合のGHG排出量の見直しを指す。
**ボランタリークレジットは国際的な認証制度(例: Verra, Gold Standard等)に基づくもので、Scope3のオフセットやグローバルなESG活動に活用されている。

環境への取り組みの「見える化」と開示による企業価値の向上に貢献

J-クレジットを活用した「カーボンオフセット燃料」の活用により排出削減と環境価値を「見える化」することで、貴社の企業価値向上が期待できます。



脱炭素化実績を定量化・明示化し
株主評価を向上



環境配慮型事業者として評価獲得
案件獲得力向上



社員の
環境意識啓発に貢献

長期的な企業価値の向上へ

富士興産のオフセット燃料

弊社が販売する各種燃料油に事前に調達したJ-クレジットを付帯して販売します。確定した販売量に対するJ-クレジットの無効化(償却)を行い、「償却証明書」と「オフセット燃料供給証明書」の2種類を発行しています。これにより、燃料使用に伴うGHG排出相当分がオフセットしたことを第三者に説明・証明可能です。



* J-クレジット制度において第三者認証を受けたものの取り扱いもごさいます。

排出Scope別オフセット活用マップ

Scope	排出源例	オフセット内容	活用
Scope1 (燃焼などの直接排出)	ボイラー 重機・発電機等	J-クレジットにより 調整後排出量を相殺	・ 温対法・ESG ・ 統合報告書等各種報告書
Scope3 (原材料・輸送等)	原油採掘/精製/輸送	国内外ボランタリークレジットにてBVCM*として 相殺	・ 製品・サービスのカーボン ニュートラル ・ 取引先/顧客向けPR・入札ア ピール

* BVCM(Beyond Value Chain Mitigation):自社のバリューチェーン外での追加的な温室効果ガス削減・除去へ資金を拠出する取り組み。グロス排出量には影響を与えず、「オフセット情報」として開示する。

バイオディーゼル燃料導入事例紹介

CASE 01

業界	運送
納入先	サントリーロジスティクス
ご使用油種	B5軽油
使用用途	配送用トラック

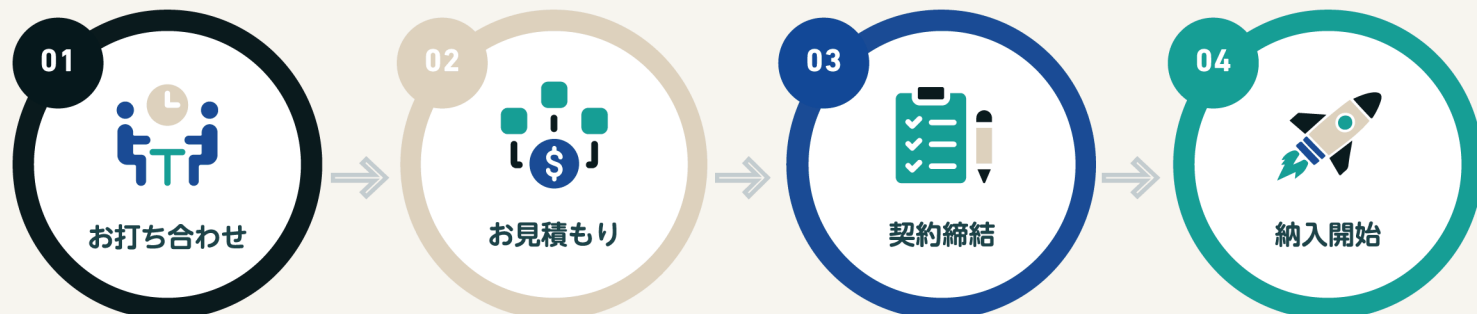


CASE 02

業界	建設
納入先	鴻池組
ご使用油種	B100燃料
使用用途	発電機及びクローラークレーン



納入までの流れ



01 お打ち合わせ
弊社担当者と貴社で燃料の使用状況、納入方法などをご相談いたします。

02 お見積もり
お打ち合わせでの条件をもとに弊社より御見積書を作成いたします。

03 契約締結
御見積内容をご確認いただいた後に売買契約書を締結させていただきます。

04 納入開始
貴社指定納入方法で弊社より各種BDF燃料の配送を開始いたします。

CONTACT US

豊富な油種ラインナップと全国の供給網を活用して、お客様における脱炭素化に貢献致します。
ご提案につきましては上記の流れに沿って行いますので、皆様からのご連絡をお待ちしております。